



# OPROARTS Connector for Salesforce セットアップガイド

Ver.1.4

## 改訂履歴

---

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/05/29	新規作成
1.1	2020/04/10	「2. Salesforce の設定」を追記
1.2	2020/07/20	「5. OPROARTS Connector のアンインストール」を追記
1.3	2021/04/20	「1. OPROARTS Connector のインストール」を変更
1.4	2023/03/14	「Appexchange からのインストール画面」を変更

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。  
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記していません。

## 本書の使い方

本資料では、下記サービスをご利用するにあたり必要な、OPROARTS Connector for Salesforce のインストールから認証情報の設定方法までを記載しています。

OPROARTS Live

OPROARTS Connector for Salesforce

ViewFramer

AppsME カスタムレイアウト

各サービスの具体的な操作手順書及び、テンプレートの作成方法は別資料がございますので、そちらをご参照ください。

## 本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
<b>注意</b>	操作上の注意事項について記載しています。
<b>Point</b>	操作上で知っている便利なポイントについて記載しています。
<b>参照</b>	本書における参照先を記載しています。
<b>[ ]</b>	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
<b>「 」</b>	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

# 目次

---

<b>1. OPROARTS Connector のインストール</b> .....	<b>5</b>
<b>2. Salesforce の設定</b> .....	<b>8</b>
2.1 ユーザ権限の設定 .....	8
2.2 ログインセッションの設定.....	9
<b>3. ライセンスの登録</b> .....	<b>10</b>
3.1 「LAD」ライセンスの登録.....	12
3.2 「LA」ライセンスの登録.....	14
<b>4. 全ユーザーに帳票出力権限を与える場合</b> .....	<b>16</b>
4.1 「ALA」の登録.....	16
<b>5. OPROARTS Connector のアンインストール</b> .....	<b>18</b>

# 1. OPROARTS Connector のインストール

ここでは OPROARTS Connector のインストール方法について説明します。

1. 次の URL にアクセスし、あらかじめ Salesforce のログインページから Salesforce 組織にログインしてください。  
<https://login.salesforce.com/>
2. 続いて次の URL にアクセスし、[今すぐ入手] ボタンをクリックします。  
<https://appexchange.jp.salesforce.com/listingDetail?listingId=a0N30000008YEhhEAG>

すべてのアプリ・帳票・ファイル管理  
oproarts Connector - 請求書・契約書を作成・連携するクラウド帳票

執筆者 株式会社オプロ

今すぐ入手

¥3,000 JPY 1 か月ごと

評価 ★★★★★ (29) 異種別コレクション  
帳票・ファイル管理

最新リリース  
2021/08/24

Salesforceに帳票・連携機能をアドオン  
◆◆◆2022年人気のあったAppExchangeアプリランキングにランクイン◆◆◆  
・AppExchangeサイトお客様評価ランキング 2位

「oproarts」はSalesforceからPDF/Excel/Word/PowerPoint形式の帳票を出力するサービスです。請求書、契約書、報告書など書類の電子化はもちろん、外部サービスと連携し紙業務全体のペーパーレス化を実現します。

○ サービス紹介ページ  
<https://oproarts.opro.net/>

1 / 15 : 2022年お客様から人気のあったAppExchangeアプリランキングにランクイン!

## Point

リンク先が表示されない場合は、AppExchange サイトで「OPROARTS」を検索してください。

3. 「このパッケージをどこにインストールしますか？」画面が表示されます。「接続済みの Salesforce アカウント」にインストールを行うユーザが選択されていることを確認し、インストールする先の組織を選択します。



4. 契約条件を一読の上、「私は契約条件を読み、同意します」にチェックをつけます。  
[確認してインストール] ボタンをクリックします。



5. 「インストール OPROARTS Connector」画面が表示されます。  
インストールするユーザーを選択し、[インストール] ボタンをクリックします。



6. 「インストール完了!」もしくは「このアプリケーションのインストールには時間がかかります。」とメッセージ表示されます。[完了] ボタンをクリックします。  
※インストールに時間がかかる場合は、インストール完了の通知メールが届くまでしばらくの間お待ちください。



**Point** インストール完了のお知らせはメールでも通知されます。

## 2. Salesforce の設定

ここでは OPROARTS を利用するために設定が必要な Salesforce の項目について説明します。

### 2.1 ユーザ権限の設定

使用するユーザのプロファイルが「システム管理者」以外の場合、プロファイルを編集して以下の権限を与えてください。編集できない標準のプロファイルの場合は、そのプロファイルをコピーして新規のプロファイルを作成し、それを編集して各ユーザに割り当ててください。

#### デザイン時・文書出力時共通

- カスタムオブジェクト OPROARTS、OPROARTS ユーザに対する [参照] 権限
- それらのオブジェクトのすべての項目に対する [参照可能] 項目レベルセキュリティ (特に、OPROARTS ユーザの「ユーザ」項目に注意)
- [システム管理者権限] の [API の有効化] 権限

#### デザイン時

- [システム管理者権限] の [設定・定義を参照する] 権限

#### ライセンス管理時

- カスタムオブジェクト OPROARTS、OPROARTS ユーザに対する [作成] ・ [すべて変更] 権限
- それらのオブジェクトのすべての項目に対する [編集可] 項目アクセス許可



## 2.2 ログインセッションの設定

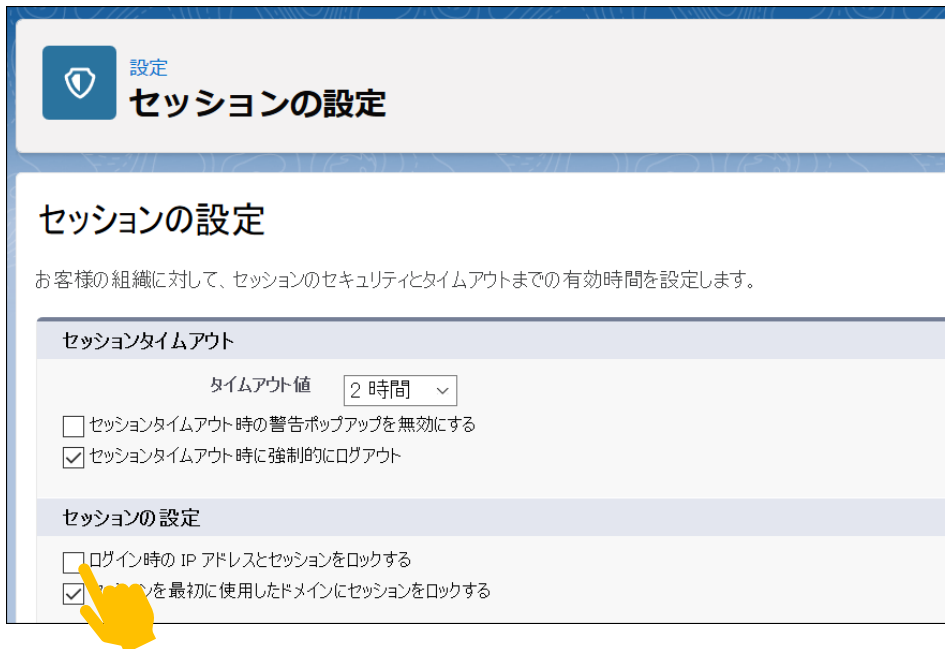
デザイン機能と文書作成処理は OPROARTS のクラウド環境にて実行されます。その際、Salesforce へのログインセッションを使用して、必要に応じて Salesforce から情報を取得します。

そのため、以下のようにして、ログインセッションを使用した外部アクセスを許可してください。

1. [設定]画面のクイック検索ボックスに「セッション」と入力して、[セッションの設定]をクリックします。



2. [ログイン時の IP アドレスとセッションをロックする]チェックボックスをオフにします。  
(元々オフになっている場合、本設定は不要なので、そのまま設定画面を閉じて問題ありません)



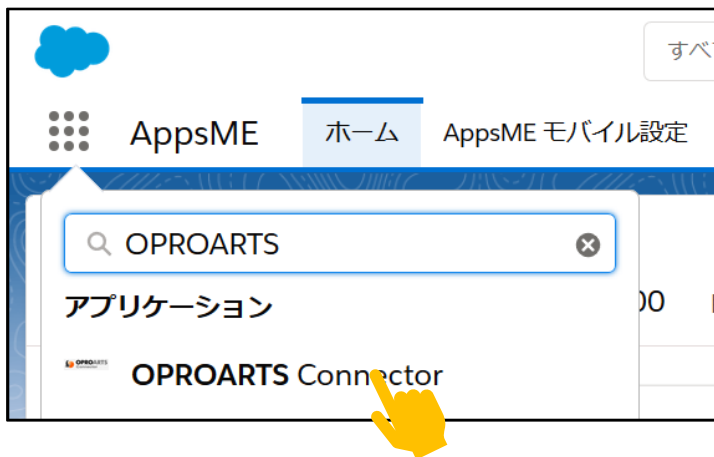
3. 画面最下部の[保存]ボタンをクリックします。
4. 設定を変更した場合は、一旦 Salesforce からログアウトして、ログインしなおします。

# 3. ライセンスの登録

OPROARTS ライセンスの登録方法を説明します。

ライセンスの登録は、前章でインストールした「OPROARTS Connector」を使用します。

1. アプリケーションランチャーから「OPROARTS Connector」をクリックします。

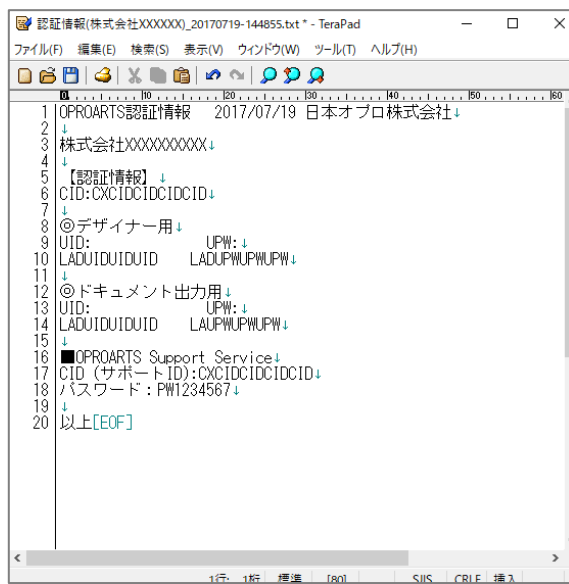


2. ご契約時またはトライアルライセンスの取得時に当社から送付している認証情報テキストをご用意ください。

[OPROARTS]タブを開きます。



認証情報を用意します。



```
1 OPROARTS認証情報 2017/07/19 日本オプロ株式会社↓
2 ↓
3 株式会社XXXXXXXXXX↓
4 ↓
5 【認証情報】 ↓
6 CID:CXCIDCIDCIDCID↓
7 ↓
8 ◎デザイナー用 ↓
9 UID: UPW: ↓
10 LADUIDUIDUID LADUPWUPWUP↓
11 ↓
12 ◎ドキュメント出力用 ↓
13 UID: UPW: ↓
14 LADUIDUIDUID LAUPWUPWUP↓
15 ↓
16 ■ OPROARTS Support Service ↓
17 CID (サポートID):CXCIDCIDCIDCID↓
18 /パスワード: PW1234567 ↓
19 ↓
20 以上[EOF]
```

## 3.1 「LAD」ライセンスの登録

「LAD」に登録したユーザは、帳票デザイン的设计を行うことができます。

1. プルダウンから「デザイン(LAD)」を選択し、当社から送付した認証情報の「CID」を入力し、[追加]ボタンをクリックします。

OPROARTS

アクション	OPROARTS	CID	
追加	デザイン (LAD) ▼		
アクション	OPROARTS	CID	最終更新日

2. 下に「LAD」レコードが表示されるので、LAD リンクをクリックします。

OPROARTS

アクション	OPROARTS	CID	
追加	出力 (LA) ▼		
アクション	OPROARTS	CID	最終更新日
編集   削除	LAD		2017/08/17 13:07

3. ユーザには、帳票設計を行うユーザを選択します。UID/UPW には、当社から送付した「デザイナー用」の UID と UPW を入力し、[追加]ボタンをクリックします。

OPROARTS

LAD (CID: )

◀ 一覧に戻る: OPROARTS

OPROARTSユーザ

アクション	ユーザ	UID	UPW
追加			

「デザイン(LAD)」に登録したユーザは、帳票テンプレートを作成できます。

4. 下部に、ライセンスを適用したユーザのレコードが登録されます。これを必要なユーザ分登録します。

OPROARTSユーザ			
アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
アクション	ユーザ	UID	最終更新日
編集   削除			2017/08/17 13:17

以上で、ライセンス「LAD」の登録は完了です。

## 3.2 「LA」ライセンスの登録

「LA」に登録したユーザは、帳票出力を行うことができます。  
帳票出力を行う必要があるユーザを必ず登録してください。

1. プルダウンから「出力(LA)」を選択し、当社から送付した認証情報の「CID」を入力し、[追加]ボタンをクリックします。

OPROARTS			
アクション	OPROARTS	CID	
追加	出力(LA)	<input type="text" value="CXCIDCIDCIDCID"/>	
アクション	OPROARTS	CID	最終更新日
編集   削除	LAD	CXCIDCIDCIDCID	2017/08/18 18:57

2. 下に「LA」レコードが表示されるので、LAリンクをクリックします。

OPROARTS			
アクション	OPROARTS	CID	
追加	出力(LA)	<input type="text"/>	
アクション	OPROARTS	CID	最終更新日
編集   削除	<a href="#">LA</a>	CXCIDCIDCIDCID	2017/08/18 18:58
編集   削除	<a href="#">LA</a>	CXCIDCIDCIDCID	2017/08/18 18:57

3. ユーザには、帳票出力を行うユーザを選択します。UID/UPW には、当社から送付した「ドキュメント出力用」のUIDとUPWを入力し、[追加]ボタンをクリックします。

OPROARTS			
LA (CID: CXCIDCIDCIDCID)			
←一覧に戻る: OPROARTS			
OPROARTSユーザ			
アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	システム管理者	<input type="text" value="LADUIDUIDUID"/>	<input type="text" value="LAUPWUPWUPW"/>
アクション	ユーザ		

[出力(LA)]に登録したユーザは、帳票出力が可能になります。

4. 下部に、ライセンスを適用したユーザのレコードが登録されます。これを必要なユーザ分繰り返してください。

OPROARTSユーザ			
アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
アクション	ユーザ	UID	最終更新日
<a href="#">編集</a>   <a href="#">削除</a>	システム管理者	LADUIDUIDUID	2017/08/18 18:59

以上で、ライセンス「LA」の登録は完了です。

## 4. 全ユーザーに帳票出力権限を与える場合

全ユーザーに帳票出力権限を与える場合の手順について説明します。

**注意** Salesforce 組織内の全ユーザーに帳票出力権限を与える設定を使用できる機能([ALA])は、帳票テンプレートの連携方法「Connector for Salesforce」または「ViewFramer/D3Worker」で帳票作成を行っている場合です。帳票作成サービス（Prime）を利用して帳票作成を行っている場合は対応しておりませんので、ご注意ください。また、「Connector for Salesforce」や「ViewFramer」を含めた複数のサービスをお使いの場合もご利用の状況によっては使用できない場合がございます。  
ALA が使用できるかどうか分からない場合は、検証環境でお試しいただくか、サポートまでお問い合わせください。  
(2018/08 時点)

### 4.1 「ALA」の登録

- 「LA」では登録しているユーザのみ帳票出力を行うことができますが、「ALA」では Salesforce に登録されているユーザ全員に出力権限を与えることができます。  
プルダウンから「出力(LA)」を選択し、当社から送付した認証情報の「CID」を入力して「追加」ボタンをクリックします。

OPROARTS			
アクション	OPROARTS	CID	
追加	出力(LA) ▼	CXCIDCICIDCID	
アクション	OPROARTS	CID	最終更新日
編集   削除	LAD	CXCIDCICIDCID	2017/08/18 18:57

- 「LA」レコードの「編集」をクリックし、「OPROARTS」を「ALA」に書き換えて保存します。

OPROARTS			
アクション	OPROARTS	CID	
追加	出力(LA) ▼		
アクション	OPROARTS	CID	最終更新日
編集   削除	LA	CXCIDCICIDCID	2017/08/18 18:58
編集   削除	LAD		

OPROARTS | ALA



3. 「ALA」を開き、ユーザと「ドキュメント出力用」の UID と UPW を入力し、「追加」ボタンをクリックします。


**OPROARTS**  
**ALA (CID: CIDCIDCID)**

[<< 一覧に戻る: OPROARTS](#)

---

**OPROARTSユーザ**

アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	システム管理者	LAUIDUIDUID	LAUPW



4. 下部に、ユーザのレコードが登録されます。  
 一名の登録で全ユーザーへの出力権限が付与されますので、他のユーザーを登録する必要はありません。  
 ※全ユーザーのプロファイルに帳票に使用する項目への参照権限を与える必要があります。

**OPROARTSユーザ**

アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
アクション	ユーザ	UID	最終更新日
<a href="#">編集</a>   <a href="#">削除</a>	システム管理者	LAUIDUIDUID	2017/09/28 10:16

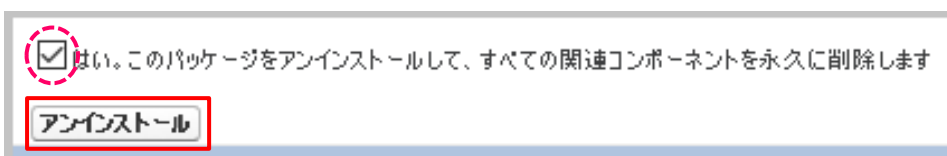
## 5. OPROARTS Connector のアンインストール

OPROARTS Connector のアンインストール方法を説明します。

1. 設定> [インストール済みパッケージ]をクリックし、OPROARTS Connector パッケージの[アンインストール]リンクをクリックします。



パッケージのアンインストール画面で[はい。このパッケージをアンインストールして、すべての関連コンポーネントを永久に削除します]にチェックを入れて、[アンインストール]ボタンをクリックします。削除完了後にメールが届きます。



### 注意

VisualforcePDF を使用されている場合は、以下の手順を行ってからアンインストールの操作を行ってください。

1. ページレイアウトからボタンを削除する
2. ボタン、リンクおよびアクションから作成したボタンを削除する
3. 作成した Visualforce ページを削除する

VisualforcePDF 以外の帳票はそのままでもアンインストールすることができますが、OPROARTS Connector パッケージのアンインストール後に出力ボタンをクリックするとエラーとなりますので、出力ボタンはレイアウトから外してください。（出力ボタンの削除は任意となります）



OPROARTS Connector  
for Salesforce  
セットアップガイド



発行元 株式会社オプロ